

教育庁実施事業改善調書（平成18年度実施事業）

高校教育課（内線5259）

事業名	外国語指導助手招致事業	事業開始年度	昭和55年度																																			
事業の目的	外国語指導助手の活用を通して、生徒に生きた英語に触れさせることにより、生徒の異文化理解を深めるとともに、実践的コミュニケーション能力の育成を図る。																																					
事業の概要	英語を母語とする外国青年を招致し、外国語指導助手(以下「ALT」という。)として、高等学校等に配置又は派遣し、英語教育や国際理解教育等で活用する。 ・31名のALTのうち30名は県内各地域の高校に配置し、そこを拠点として全県立高等学校に派遣する。 ・1名は高校教育課に配置し、特別支援学校や県立高等学校の要請に応じて派遣する。																																					
期待される効果	・生徒の異文化理解が深まる。 ・英語への関心・意欲が高まり、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成される。 ・情報や相手の意向などを理解したり自分の考えなどを表現したりする実践的コミュニケーション能力が養える。																																					
アンケート調査結果	<p>調査対象 生徒 TT授業を受けている生徒 331人                  保護者 TT授業を受けている生徒の保護者 279人                  教員 TT授業を行っている英語科教員 44人</p> <p><b>異文化理解</b>                  生徒：ALTとの授業を通して、異文化理解が深まったと思いますか。                  教員：ALTとの授業を通して、生徒の異文化理解を深めることができましたと思いますか。</p> <table border="1"> <tr> <td>生徒</td> <td>そう思う 30</td> <td>少し思う 53</td> <td>あまり思わない 14</td> <td>3 (%)</td> </tr> <tr> <td>教員</td> <td>そう思う 41</td> <td>少し思う 57</td> <td>あまり思わない 2</td> <td>2 (%)</td> </tr> </table> <p>← 思わない ↑ 思わない10</p> <p><b>関心・意欲・態度</b>                  生徒及び教員：ALTとの授業を通して、英語の授業に積極的に参加するようになったと思いますか。                  保護者：あなたのお子さんはALTとの授業を通して、英語に興味・関心を持つようになったと思いますか。</p> <table border="1"> <tr> <td>生徒</td> <td>そう思う 21</td> <td>少し思う 47</td> <td>あまり思わない 27</td> <td>5 (%)</td> </tr> <tr> <td>教員</td> <td>そう思う 34</td> <td>少し思う 55</td> <td>あまり思わない 11</td> <td>1 (%)</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>そう思う 29</td> <td>少し思う 50</td> <td>あまり思わない 18</td> <td>3 (%)</td> </tr> </table> <p>← 思わない10</p> <p><b>実践的コミュニケーション能力</b>                  生徒：ALTとの授業を通して、英語のリスニング力が向上したと思いますか。                  教員：ALTとの授業を通して、生徒の英語のリスニング力が向上したと思いますか。</p> <table border="1"> <tr> <td>生徒</td> <td>そう思う 17</td> <td>少し思う 50</td> <td>あまり思わない 26</td> <td>7 (%)</td> </tr> <tr> <td>教員</td> <td>そう思う 28</td> <td>少し思う 55</td> <td>あまり思わない 15</td> <td>2 (%)</td> </tr> </table> <p>← 思わない</p> <p>生徒：ALTとの授業を通して、英語のスピーキング力が向上したと思いますか。                  教員：ALTとの授業を通して、生徒の英語のスピーキング力が向上したと思いますか。</p>			生徒	そう思う 30	少し思う 53	あまり思わない 14	3 (%)	教員	そう思う 41	少し思う 57	あまり思わない 2	2 (%)	生徒	そう思う 21	少し思う 47	あまり思わない 27	5 (%)	教員	そう思う 34	少し思う 55	あまり思わない 11	1 (%)	保護者	そう思う 29	少し思う 50	あまり思わない 18	3 (%)	生徒	そう思う 17	少し思う 50	あまり思わない 26	7 (%)	教員	そう思う 28	少し思う 55	あまり思わない 15	2 (%)
生徒	そう思う 30	少し思う 53	あまり思わない 14	3 (%)																																		
教員	そう思う 41	少し思う 57	あまり思わない 2	2 (%)																																		
生徒	そう思う 21	少し思う 47	あまり思わない 27	5 (%)																																		
教員	そう思う 34	少し思う 55	あまり思わない 11	1 (%)																																		
保護者	そう思う 29	少し思う 50	あまり思わない 18	3 (%)																																		
生徒	そう思う 17	少し思う 50	あまり思わない 26	7 (%)																																		
教員	そう思う 28	少し思う 55	あまり思わない 15	2 (%)																																		

アンケート調査結果

	そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない	(%)
生徒	12	40	38	10	

	そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない	(%)
教員	22	55	19	4	

A L T への期待

生徒及び教員：A L T との授業を増やした方がよいと思いませんか。

保護者：高等学校の英語教育にA L T を活用した授業が必要であると思いませんか。

	そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない	(%)
生徒	39	37	19	5	

	そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない	(%)
教員	30	41	23	6	

	そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない	(%)
保護者	73	22	4	1	

調査結果の分析

- ・異文化理解については、83%の生徒が「異文化理解が深まった」あるいは「少し思う」と答えている。また、98%の教員が「異文化理解を深めることができた」あるいは「少し思う」と答えている。
- ・関心・意欲・態度については、「授業に積極的に参加するようになった」あるいは「少し思う」と答えた生徒が68%に対して、教員は89%が「生徒が授業に積極的に参加するようになった」あるいは「少し思う」と答え、保護者は79%が「子どもが英語に興味・関心を持つようになった」あるいは「少し思う」と答えている。
- ・実践的コミュニケーション能力のリスニング力については、「向上した」あるいは「少し思う」と答えている教員が83%いるが、生徒の方は67%にとどまっている。
- ・実践的コミュニケーション能力のスピーキング力については、「向上した」あるいは「少し思う」と答えている教員が77%いるが、生徒は52%である。
- ・A L T への期待については、生徒の76%及び教員の71%が「A L T との授業を増やした方がよい」あるいは「少し思う」と答えている。また、保護者の95%が「A L T を活用した授業が必要である」あるいは「少し思う」と答えている。

関連データ

生徒アンケート調査 (CAN-DO調査)

「英語教科書の本文を読んで理解できるか」との問いへの「できる」「できない」と答える転換点がどのグレードにあるか。

調査実施時期：2004年10月～12月

日本	グレード5以上 (英語圏の2年制大学への留学に挑戦できる最低限のレベル)
中国	グレード4以上 (英語圏での短期の語学留学についていける最低限のレベル)
韓国	グレード3.5以上 (英語圏でのホームステイや海外旅行を楽しめる最低限のレベル)

日本の高校生は、英語圏の大学の授業について行ける英語力を持った生徒でないと「できる」と答えないのに対して、他の国の高校生はそれほどの英語力がなくても、「できる」と答える傾向が見られる。

2003年度からベネッセコーポレーションが大学研究者と協力して実施している日本、韓国、中国の高校生の英語力調査より作成

調査分析チーム 日中韓の大学関係者及び(株)ベネッセコーポレーション国際教育事業部・ベネッセ教育総研

今後の方向

生徒の異文化に対する興味・関心や学習への意欲・態度の育成については、A L T を活用した授業が十分成果を上げており、今後も継続して実施する。生徒の英語力については、ほとんどの教員が向上していると判断しているのに対して、生徒自身は英語力があまり向上してないと評価していることがわかった。今後は生徒に英語使用に対する自信を付けさせるため、さらにA L T を効果的に活用した授業の工夫・改善 (A L T が教科書内容を録音したオリジナルCDの活用やリスニングテストの実施等) に努めながら、生徒が実際に情報の受け手や送り手となってコミュニケーションを行う活動を通じて、学習活動がより実際の効果的なものになるようにする。

